



# 議会だより



どんど焼き (ひだまり保育園 1/12)

第4回 定例会 (H18年12/5~19)

**第4回定例会の概要** (市政報告)

2~3 ページ

**一般質問**

16氏

**市政を問う**

(内容は本人の草稿によるものです。)

4~11 ページ

**常任委員会審査内容**

12~13 ページ

議員定数を定める条例・閉会中所管事務調査

**<次回選挙から議員定数18人!!>**

14~15 ページ



ゴルフを楽しむプレーヤー

暖冬!!



少雪に悩むスキー場

# 第4回定例会

## 主な議案

12月5日～19日

### 一般会計補正予算

今までの予算に歳入歳出3億7,770万円を減額し、総額を145億8,690万円としました。

### 主な内容

総務費では、合併特例債等の市債を財源としている基金の積立を当初予算で計上していましたが、公債費の負担軽減を図るため、積立予定額4億円を取りやめました。

民生費では、重度心身障害者医療費助成など扶助費にかかる必要額を計上した。農林水産業費では、長池憩いの森公園駐車場舗装工事費を計上した。

商工費では、各施設等にかかる灯油価格等の高騰により燃料費等を増額した。その他各款において、旧黒川村職員の給料調整に伴う予算の増額を計上した。

### 特別会計補正予算

国民健康保険事業補正予算、保険財政共同安定化事業費の確定等に伴い、7,343万8千円を追加し、総額を31億9,680万6千円とする。

### 老人保健事業補正予算

これまでの実績を勘案し、療養費に540万1千円を追加し、総額を29億4,400万7千円とする。

### 農業集落排水事業補正予算

大長谷地区処理場工事費の減額と汚泥処理及び舗装本復旧工事費等の増額に伴い、827万5千円を追加し、総額を18億3,187万6千円とする。

### 地域産業振興事業補正予算

旧黒川村職員の給料調整等に伴い、100万円を追加し、総額を6億1,200万円とする。

### 簡易水道事業補正予算

簡易水道施設整備基金積立金に1,327万5千円を追加し、総額を1億3,435万4千円とする。

### 条例の制定

一般職の任期付職員の使用等に関する条例、高度の専門性や多様な社会経験を有する人材を採用するための条例を制定。

### 条例の一部改正

乳幼児の医療費助成に関する条例の一部改正、障害者自立支援法が施行され、精神通院医療、更正医療、育児医療が一本化され、自立支援医療となったことに伴う改正。

農産物(飲料水)加工施設条例の一部改正、ミネラルハウスの運営に指定管理者制度を導入するため所要の改正を行う。

### 土地の取得

史跡公園(坊城館跡)用地取得、18年1月国から史跡指定を受けた館跡整備のため、5地権者から5,323㎡を1億2,034万6,300円で取得するもの。

本定例会では第1次胎内市総合計画基本構想、一般会計補正予算、特別会計補正予算7件、水道会計補正予算、自動車運送補正予算、条例の制定2件、条例の一部改正7件、後期高齢者医療広域連合の設置、市道路線の認定、動産の取得、土地の取得、契約の締結、発議9件(条例1件・意見書8件)、報告2件など多くの案件がありました。契約の締結では、防災行政無線施設整備工事が株東芝新潟支店とで締結された。議員定数削減の条例が提案され、討論の未賛成多数で可決されるなど、全議案が慎重審議の結果全て可決されました。

# 市政報告

## 概要

市長

### 1、教育関連

昨年11月14日市内中学校での「自殺する」とのメモ発見に端を発して、立て続けに「いじめ」を助長するかの置手紙がみつかり、生徒はもとより、保護者、関係者の皆さんを混乱に陥れたことはご承知のとおりであります。

当該中学校では、緊急に学年集会や保護者会を開催し、生徒には、「命に関わる重大なこと」「命に関わる重大なこと」であること、「一人で悩まないこと」などを訴え、アンケート調査を実施するなど、情報提供を呼びかけ、保護者に概要説明をし、今後も家庭と学校が連携を取り合って対応

する事を確認しました。

その後もいたずらと思われる置手紙など数件発見されており、教育委員会では県教育委員会や警察からも指導を頂き対応を図っておりますが、近隣の神林村では中学生が自らの尊い命を絶つという痛ましい事件が発生している事から、児童・生徒に不安や動揺が広がらないように、細心の注意を払いながら対処するよう指示しております。

いずれにしても、児童・生徒を取り巻く環境は、殺伐とした情報が飛び交う中、大変厳しく感じております。学校や家庭、地域社会と連携を図り、児童・生徒を守り、教育環境の向上を目指しております。皆様のご理解ご協力をお願い致します。



### 2、農産物(飲料水)加工施設

#### 第三セクターで運営

いわゆる胎内高原ミネラルハウスは新山村振興事業で13・14年で整備し15年から運営しております。折からの健康志向やブームもあり、天然水や地元産原材料を使用することから脚光を浴び、旧黒川村の地域活性化施策に寄与してきたところであります。稼働率は低く運営は厳しい状況にあります。各メーカーとの採算を無視した価格競争はできないことから、県とも協議し改善計画を策定しているところです。

今後は本施設の特徴を活かし、民間事業者等のノウハウを活用し特産品の価値を損なわず、かつ行政コストの削減が望める方策として、その管理運営に当たる法人として、第三セクターの設立準備を進めております。

### 3、品目横断的

#### 経営安定対策

農政の大改革と位置づけられている今回の対策は、意欲と能力のある担い手に限定した経営の安定を図る対策であり、米、麦、大豆等の土地利用型作物を対象としています。

市としては推進のため、関係機関とで「担い手育成支援協議会」を設置し組織化の推進を重点課題として取り組んでいます。既に19年春に収穫される麦については6組織が対策への手続きが済んでおります。

一方、麦のほか、米、大豆等の土地利用型作物に取組む集落も10集落程度が集落営農の確立に向け合意が図られています。その他多くの集落でも集落営農に向け話し合いが進められています。

一人でも多くの農業者が本対策の対象となるよう再度この制度の周知を徹底し、誘導を図りたいと考えております。

### 公債費負担適正化計画

(18年度～26年度)

胎内市の17年度実質公債費比率23・1%の早期是正を図るべく適正化計画を策定した。

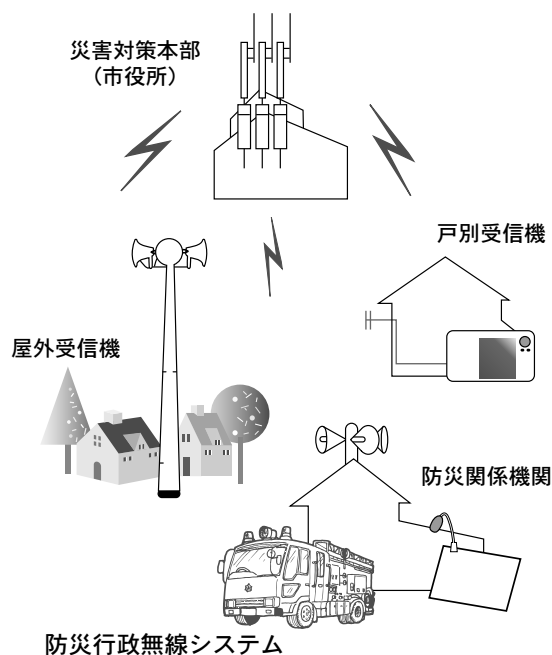
今後の地方債発行は公債費比率の動向に十分注意しながら、事業内容の精査や実施年度の調整、歳入の増加等を図る取り組みとして、市税の滞納整理、企業誘致、市有地売却、使用料の適正化等により、26年度には目標である17%以下を達成するよう努めます。

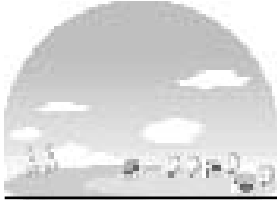
### 防災行政無線整備事業

21年3月完成

この防災行政無線は、災害時における市民への情報の伝達はもとより、交通・防犯活動、行政事務の連絡など幅広く有効に活用することにより、「安全・安心なまちづくり」を進める要となるもので、今後基地局、中継局の設置に加え、各家庭に配備する戸別受信機の整備を進めるものです。

契約者 ⑭東芝新潟支店  
契約金 8億2,327万9,350円





# 社会復帰 促進センターの誘致を！



小野 康男 議員

## 市長 情報精査を重ねていく

**【質問】** 市の小・中学校で、いじめ等予告文、教育委員会・市職員の方々、いじめ根絶と犠牲者皆無を目指し、徹夜巡回、実践された。議席から、敬意を表し成果を願う。

さて、国の司法改革法のうち、軽度の犯罪者更正の国策、社会復帰促進事業とは、私、先進実例資料を市長に提示、主旨は、民間資金と国の債務負担で、全国十何ヶ所、一規模何百億円、2千人で職員5百人の半数は、誘致地元で採用、食材、資材とも全て調達。国の事業と地元の共存連携特区を図る。保安は入所者ITタグ（電子錠）着装、現に市の活力・福祉の増進に円滑導入の考えは。

**【市長】** 国のPFI方式の特区制度、ただ治安面、住民感情等、情報精査を重ね、前向きに取り組む事理解頂く。

### 教育行政について

**【質問】** 旧小学校の空施設の屋根補修等、地域の体力向

上、交流の場として安定持続策は。市長の所見を伺う。  
**【市長】** 平成17年、利用20団体、年間延べ1万3千人活用の実績、年次経過の老朽雨漏り等、年次維持補修に努め、活用増進を図る。

**【質問】** 小学校に携帯電話持込と、冬場も通学路、安全確保の実情は。又、中条高校は、地元ふるさとのホコリ、中学校学習充実は。

**【教育長代理】** 小学校のIT教室内での利用は聞かない。通学路の安全重視は、住民父兄の理解と協力で実施。中条高校の活性化に地元として、支え協力する考え。

**【質問】** 7号線東市道の連結を年次計画で実施しては。  
**【市長】** 市道の連結、安全性の整備促進を図りたい。



中条高校



# 観光事業会計一本化を！



富 樫 誠 議員

## 市長 メリット、デメリットを検討したい

**【質問】** 事業内容を分かりやすく効率的に運営する為に、観光、農畜産事業会計を一本化するべきでは。

**【市長】** 国県の補助事業の關係で今すぐ同一会計にするには無理がある。しかし、会計を一本化した方が収支や事業効率が明確になる事から補助金採択上可能なのかも含め、そのメリット、デメリットを検討したい。

**【質問】** 観光事業に甘えは許されない。専門家の指導を仰ぐべきではないか。

**【市長】** 今後、直接運営しているホテルをはじめ、観光施設全体を民間の専門家に経営診断をお願いし、改善すべき点を明確にした上でその解決策を講じたい。

**【質問】** 市職員全体で営業活動できる体制づくりをすべきでは。

**【市長】** 私自身が先頭に立ち、商工観光課職員を中心として全職員が営業マンとしてPR活動を行えるよう意識改革を図りながら、体制づくりに取り組みたい。

### 市役所の機構 改革について

**【質問】** 機構再編プロジェクトチームの目指すものは。

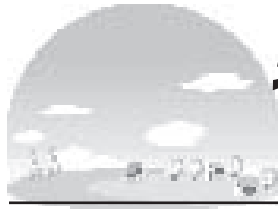
**【市長】** 効率的な行政運営と市民サービス向上のための調査研究を行う。厳しい財政状況を考慮すれば職員数の削減は避けられない状況にあるが、市民サービスを低下させず簡素で効率的な行政サービスを構築する。

**【質問】** 職員に民間経験者を採用してはどうか。

**【市長】** 職種によっては高度な専門性や多様な社会経験を有する人材が必要となってくる事が予想されるので「任期付き職員制度」を有意義に活用し、必要とされる能力を持つ職員の採用を心掛けたい。

#### ※用語説明

「任期付き職員の採用等に関する条例」とは、高度な専門的な知識経験、又は優れた識見を有する者を一定期間（5年以内）任期を決めて採用できる。



# 環境保全型 農業支援は？



松浦富士夫 議員

## 市長 ほ場整備事業等を優先する

**市長** J A中条町、J A黒川村、(株)成成、(株)新潟潟農園(株)横山商店等である。

**質問** 品目横断的経営安定対策で市は説明不足では。今後どう対応するのか。

**市長** 職員関係機関は努力している。いつでも説明に出向くのでご理解いただきたい。

**質問** 品目横断的経営安定対策は、4ヘクタール以上の認定農業者となっているが、どのような方策で集積していくのか。

**農業委員会** 4ヘクタール以上の要件を達成できるよう認定農業者への利用調整を重点的に推進し、要件から外れた農業者は集落営農でやっていた、いただきたい。

## 除雪について

**質問** 市道乙・金屋・山屋線の一部は、荒川町地内になるが除雪費用は。

**市長** 荒川町と協議し胎内市が負担した。

**質問** 同市道で昨年既製物破損等があったが、今年度の対応は。

**市長** 業者と除雪会議を行い運転者に路線点検をお願いし事前にスノーポール等設置を行い破損防止に努める。

**質問** 県道中条・乙線の歩道除雪の遅れの対応は。

**市長** 今年度は出発地点の見直しを行い遅れが生じないように努める。

## 母子家庭 父子家庭について

**質問** 現在、胎内市の母子家庭、父子家庭数は。

**市長** 12月1日現在の医療費助成申請世帯数で母子家庭248、父子家庭10、計258世帯である。

**質問** 市として母子家庭、父子家庭の気軽に話し合える出合いの場を設けるつもりはないか。

**市長** ほっとH O T中条、ついで保育園、ひだまり保育園に子育て支援センターを開設し悩み相談、仲間づくりができる体制になっているし、他の保育園では日を決め園の開放をやっているので出合いの場として活用して頂きたい。



# 少子化対策課の設置を！



薄田 智 議員

## 市長 組織の再構築に取り組む

した。市長はどう考え、どう対処しようとしているのか。

**市長** 過去5年間の人口動態は、出生数が1、300人、死亡数が1、728人で428人の自然減。また、転入転出では491人の社会減。

総じて、出生数の減少、若年層の流出が見られ、これが人口減少の大きな要因であった。

**質問** 人口減少の問題について、国と同様、組織の横断的な役割を果たす専属の課の設置が急務ではないか。

**市長** 少子化対策を担う部署の設置と、組織横断的な調整機能を併せ持った実効性のある組織の再構築に取り組んでいる。

**課長** 現在、プロジェクトを立ち上げて、横断的に担当部署設置に向け検討中で、4月をめどにやりたい。

**質問** 人口減少に若者の雇用の創生と結婚問題が大きい。胎内市の30歳代男性40%、女性26%が未婚者、行政の具体的対応策は。

**市長** 工業団地への工場誘

致や地域産業の活性化による就業機会の創出、若年既婚者層の転入と定住化の進む街づくりを推進したい。

30歳代の未婚問題は、非常に難しい問題であり、各分野の方々と鋭意努力していく。

## 教育について

**質問** これからの胎内市を担う子どもたちをどのように教育していくのか。

**教育長代理** 教育は人をつくるだけでなく地域をつくる崇高な営み「自然が生きる、人が輝く、交流のまち」を基本理念としている。

**質問** 今後ますます教員の資質、指導力の向上が重要。また、教員のストレス解消方法は。

**教育長代理** 教職の経験年数に応じて専門研修を実施している。

また、全職員で研修を実施している。ストレス解消についても各学校と連携を図りながら個々の実態に応じて行っている。

# 結婚促進事業に 取り組むべきでは？



森田幸衛 議員

## 市長 先進事例を参考に検討したい

**質問** 人口が減少してゆく社会構造については、避けられない運命なのかもしれないが、胎内市の人口も、

2年間で466人減少した。少子化対策は、子供を生まれやすく、育てやすくする子育て支援策だけでは難しいのではないかと思う。少子化対策の一環として結婚促進事業に取り組んでいる自治体は山北町の「縁結び係」など、県内でも多くの事例がある。胎内市も築地・乙・黒川・中条にある出先機関を窓口にして、結婚を望む独身男女の出会いを支援する専門的な「係」を設置するべきだと思うが。

### プレミアム商品券について

**質問** プレミアム商品券は、

地域振興・商店街の活性化の観点から見ても即効性がある、しかも確実な費用対効果がある素晴らしい企画だが、2%の手数料が利便性の面で弊害となっていないか。1/2以上プレミアム

分を補助している側からの意見として、市営施設を含め商工会に加盟しているすべての事業所で、「手数料無し」で、すべての商品に使えるように提言すべきでは。

### 観光事業について

**質問** 都市部の人々が緑豊かな自然を求めて農村部に滞在し、英気を養ってまた都会へ帰ってゆく、いわゆるグリーン・ツーリズムという文化を観光事業の戦略にして、全国で類まれな胎内市の特性を武器に、他市町村では決してマネの出来ない魅力的な「体験プログラム」を作り、営業に歩べきでは。

**市長** 胎内市においても、海・山・川の自然を活かした沢山のメニューがある中で、市民の参加も含めて、宿泊と体験を絡めた都市との交流を新しい旅の形として検討していく。

# どう育てる胎内市の 子どもたちを！



八幡行雄 議員

## 市長 胎内市を愛し、誇りに思う子どもたちを

**質問** 胎内市がスタートして一年、将来胎内市を担う子どもたちの育ちの姿、目標は。

**市長** 自ら学び、自ら考える児童生徒の育成及び胎内市の良さに気づき、胎内市を愛し、そして誇りに思う子どもたちを育てたい。

**質問** 教育の効果は、目で聞き、耳で聞く、静かな雰囲気の中、基礎基本の確立が最も大切と思うが、小・中学校の現状は。

**教育長代理** 現在のところ、おおむね落ち着いているが、一部に、集中力に欠ける子どもたちも見られる。これからは、基礎基本の定着に向け、努力する。

**質問** 子どもたちの直接の指導は先生方である。胎内市の教育の方針、努力事項等、胎内市の心・ねらいを市長より直接語りかける会が必要と思うが、市長の考えは。

**市長** 非常にいいことなので、4月に実施したいと思う。

### 08年県立高校 一学区について

**質問** 全県一学区入試により、胎内市唯一の中条高校の衰退する恐れが考えられるので、今まで以上に中条高校を地元の子どもたちで育てて行かなければならぬ、又スポーツで小・中・高の一貫した育て方も考えられるがどうか。

**市長** 他の地域からも生徒が集まるような特色と魅力のある学校づくりを推進し、地元中条高校の活性化のため県とも十分協力したい。

※その他の質問  
・特別支援教育について  
・水産事業と海の体験について





# 耐震診断の 助成について！



鈴木 信雄 議員

## 市長 補助制度を設けたい

**質問** 今、楕形断面層による地震が話題となっている。地震は避けることはできないが備えることによっては被害を防げると言われている。しかし、いつ来るとも

言われない地震に各自が耐震に踏み切るのはいかなり難しい。この際、市が音頭をとり、呼び水として幾らか助成してこの事業を足すべきでは。なお、補強の必要な場合には融資制度を設けるべきでは。

**市長** 耐震診断は、国の採択を受けるため耐震改修事業として19年度に策定し20年度から耐震診断の補助制度を設ける予定だ。負担割合は一平方m当たり一千元を上限に国、市、個人が1

／3の負担となる。

改良工事の融資については計画策定段階の課題として今後十分検討したい。

## 私立幼稚園 補助金について

**質問** 私立幼稚園に多額の補助金が出ているが、財政難のおり、打ち切るべきでは。

**市長** 胎内市私立幼稚園就園奨励費補助等、市の制度に基づいて行っているのですが、財政事情もあり、補助金全体を精査したい。

## 18年度予算の 執行について

**質問** 18年度に予定されている、県営湛水防除事業(高畑地内)と市の予算に計上されている高畑押切地内の防火用水設置事業が、今だに着工されていないが、どうなっているのか。

**市長** 湛水防除事業は排水路の改修が28m及びパイプラインの接続工事一ヶ所となっている。

**課長** 防火用水は高畑地区と鷹ノ巣地区の2基計上したが、鷹ノ巣一ヶ所で予算が足りなくなり、今年度は着工出来ない。

## 堀川の泥上げ について

**質問** 上流部のほ場整備の流泥もあり堀川が埋まっているが、その対策は。

**市長** 県と協議する。



# 市の行政組織 について！



増子 強 議員

## 市長 再編に取り組む

**質問** 今、国・県をはじめ市町村も財政状況が非常に厳しい中、より一層事務事業の効率化と経費の節減を含めた見直しが求められている。当市も財政ひっ迫し

ている状況の中、事務事業の見直しを含めて、組織改革を検討すべきでは。

**市長** 組織機構再編プロジェクトチームから企画政策と財政を分離すること。福祉課、健康開発課及び市民生活課を再編すること。観光の活性化と農林水産業との協調連携に係る体制整備の必要性を図ることが現時点における重要課題として提言されており、現状における組織機能の課題を整理し行政組織の再編に取り組む。

**質問** 現在、課に対して係が非常に多いのでは。

**課長** 現在13課2局1支所56係であり、係の統廃合も考えている。

## 職員の配属について

**質問** 現在市の観光施設等においては、ほとんどが旧黒川村の職員が配属されている。今後は旧中条町の職員も含めた職員体制を確立することが必要と考えるが。

**市長** 職員の配置について

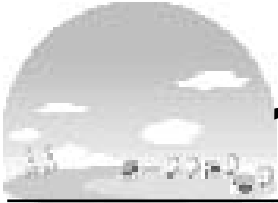
は、事務職であっても専門職として育成、処遇する方が能力を発揮する人もいると思うので、職員の特性を引き出しながらその人の個性を伸ばすとともに、能力を最大限に活用するため職種区分に基づく固定的な配置を見直し、職種間の交流を推進する。

**質問** 今後は市民挙げて誘客運動に取り組むことについて、さらに観光施設が賑わうと思うが。

**市長** 観光課だけでなく職員全般にわたってPRが必要と思う。胎内東京会、胎内大阪会、胎内名古屋会もできたので、それも含めて誘客に取り組む体制づくりをしたい。



胎内パークホテル



# 地震・災害対策について



佐藤 武志 議員

## 市長 優先順位を定め、耐震補強をしたい

**質問** 市はこの12月から公共の施設等を耐震調査するとしているが、統合計画されている柴橋・本条小学校は耐震調査の対象に含まれないと聞いている。

しかし、子供たちや人の命を守る活動をしている行政は、4年後取り壊す施設だから、耐震調査をしなくてもよいのか。

**市長** 学校施設の耐震化の緊急度を判断するため優先度調査を終え、必要な箇所においては耐震診断を順次実施し、また、財政状況を勘案しながら優先順位を定めた上で、耐震補強をしたい。耐震で22年までもつものであれば、そこは順次後回しにしていきたい。

### 財政事情説明会とその後について

**質問** 職員に対して、2年後に、財政破綻そして、「基金を取り崩しながらの財政運営が続き、資金はもうすぐ底をつく」の表現をした説明は適切であったのか。

**市長** 職員に対して財政状況の厳しさを説明した際に2年後には予算編成が困難であるという内容が記事になったもので、今後は、市民に理解を得るため、財政健全化の計画等については広報等で知らせたい。

**質問** 財政説明会の後、職員は現在どのような危機感を持って業務を行っているのか。

**市長** 職員一人ひとりが厳しい財政状況を認識し、節約等を心がけながら業務に励んでいる。

**質問** 物づくりの計画は修正すること無くやり、財政計画はローリング方式でその都度見直していく将来推計を立てられたが、市民に理解を得られるのか。

**市長** 今の構想も基本計画も、実施計画の3カ年も、本当の実施する計画であるので実施計画に沿った形での事業を展開していきたい。

### ※その他の質問

- ・友好会館とNSGについて
- ・学校の適正規模について



# 1行政区2農協となるが不都合はないか



花野 矢次兵衛 議員

## 市長 自主性を尊重しつつ動向を注視していく

**質問** 一行政区2農協で農政関係の事業を進めていく上で不都合はないのか。胎内市は合併して一日も早く市民に一体感を持ってもらう必要性があるのに、2農協になると水を差すようなものではないか。

**市長** 一方の農協が区域内、もう一方の農協が区域外に本店があるというような変則的な形態になると、合議で決定することが困難となり、現在のシステムを継続していけないのではないかと懸念している。一行政区一農協が農業施策振興上最良の形であると考えている。

### 駅前広場について

**質問** 胎内市は個人の自家用車中心の交通体系である。朝夕の通勤時の混雑は解消されたのか。右側の広場が大変広い。そこにバス・タクシーの乗降口・待避場を設け一般車と分離できないか。

**市長** 朝はスムーズにながれいている。夕方、送迎の車が列車の到着を待つ場面があるので混雑することもあ

### 障害者自立支援法について

**質問** 新しい制度になってからサービス利用者・支援事業者等から多くの苦情・支援要請が寄せられている。市としてはどのような支援が可能か。

**市長** 施設を利用する方々の負担が月割り計算から日割り計算となり、利用者・施設に負担が重くのしかかっていることは認識している。近隣市町村と足並みを揃えた中で検討し、対応策を考えていきたい。国・県に助成と制度改正を要請する。

### その他の質問

- ①省エネハウス解体、撤去 復旧事業について
- ②市道赤川・グラウンド線改良工事について
- ③遊休施設の活用について





# 子育て支援について



丸山 孝博 議員

## 市長 財政状況を勘案し、検討する

**質問** 保育料の第3子軽減策や就学前までの医療費助成の年齢引き上げをおこなうべきでないか。

**市長** 保育料は旧中条町と旧黒川村での調整を19年度から統一する。軽減策は保護者負担を勘案しながら調整する。乳幼児医療費助成は、近隣市町村や財政状況を勘案しながら十分検討していきたい。

**質問** 高校や大学等の入学のために必要な費用を市が貸付ける「入学準備金貸付金制度」を創設できないか。

**市長** どのように運用すれば市民の方に有意義に活用していただけか、その運用方法を前向きに研究していきたい。

### 鳥坂団地8号棟建設は

**質問** 公営住宅の申し込み待機者数は。

**市長** 11月末現在、旧中条町で35世帯、旧黒川村で12世帯である。

**質問** 鳥坂団地建設の進捗率と8号棟建設の時期は。

**市長** 進捗率は60%、8号棟の建設は20年21年の継続事業でおこなう。

### 新市建設計画について

**質問** 市長は、前議会での新市建設計画について再検討すると答弁していたが、今後10年間で柴橋・本条の統合小学校に25億円、黒川地区体育館に19億円、黒川地区福祉センターに13億5千万円、給食センターに12億円など大型公共事業が計画されている。何をどう見直すのか。

**市長** 社会経済情勢の変化や財政状況を踏まえ、緊急性、重要性、維持管理も含めた全体的な費用対効果などの観点から検討を加えた。



鳥坂団地7号棟

# 人口減少と里山について



渡辺 俊 議員

## 市長 生活基盤整備を進めていく

を主要の施策としている。**質問** 中山間地域の生活基盤をどう維持していくか。

**市長** 冬期間の除雪体制を万全にし、防災行政無線の整備などの施策で体制を整える。

**質問** 生活文化の継承には、「教育」が大切と思うが、独自の取り組みは。

**教育長代理** 地域の祭りへの参加も含め、地域性を重視した教育課程の編成により、地域とともに歩む教育の推進を目指している。

### 市政と職員について

**質問** 職員自らの能力を生かした新市計画づくりについての評価は。

**市長** 職員が自ら調査・分析を行いながら案を練り、審議会や策定委員会に提出して、説明していくというプロセスを経てるので、政策立案能力の向上につながっている。

**質問** 余力のある今こそ、能力形成のチャンスでは。

**市長** 職員の持つ能力を最大限に活用するため、その

やり方を検討し、能力開発に取組む。**質問** 政策立案能力を考慮した職員採用計画は。

**市長** 民間企業の役員等時々々の政策課題に係る企画立案に従事させるなど、新たな行政需要に対応でき得る多様な人材を確保する。

### 黒川地区について

**質問** 黒川支所の組織見直しは。

**市長** 組織機構及び業務量についてヒアリングを行い、その課題、問題点を早急に把握した上で、支所機能のあるべき姿について検討する。

**質問** 地域審議会の位置づけは。

**市長** 行政の説明責任に基づき、積極的に行政情報を提供することで、より議論しやすい環境を整え、審議会の自発性を促すとともに、審議内容を広く公表することににより、市民一人一人が地域づくりに参画する共同社会の構築の足がかりになっている。



# 財政運営と 事業成果の公表を!



水澤 寅一 議員

## 市長 財政健全化の計画を策定している

**【質問】** 財政状況の厳しい事は承知しているが、合併したからといって、降ってわいた事ではない。旧町村の発展と住民の強い要望があり、各事業も時期を逸することなく執行者の英断と議会の承認を得て実施してきた事であり、負債があるから健全財政ではない、事業もしないで赤字だから健全財政だとは単純に言われないうと思うが。

**【市長】** 今後の財政の指針となる財政健全化の計画を策定している。今少し猶予をいただきたい。

**【質問】** 先般、全国各市の公料金、福祉、教育、産業インフラ等30項目を調査した結果が全国紙に公表されていたが、総合点で全国平均を上回った市は新潟県では9市だけであり胎内市は県内6番目であった。まさに今迄の事業成果だと思ふ。市民にお知らせすべきでは。

**【市長】** 環境、福祉、教育、など数多くの事業を実施してきた。合併後の効果等も

あわせて検証している。評価結果を早い時期に市民の皆様にお示しをする。

### 企業誘致促進のため 直接乗り入れ出来る スマートインター建設は

**【質問】** 活力あるまちづくりには、企業誘致が一番必要であり、議会も特別委員会を設置した。スマートインターの建設が企業誘致に大きなインパクトを与えようと思うが。

**【市長】** 確かに強力なインパクトを与えようと思うが、経費等の問題もあり今後検討が必要だ。

### 行政改革について

**【質問】** 19年4月からの自治法の改正により、助役、収入役は名称の変更、廃止となるが、市長の対応は。

**【市長】** 4月から副市長2名を考えている。3月議会に提案したい。



# 子どもたちの生きる力を 育むための取り組みは?



新治ひで子 議員

## 市長 貴重な体験学習の場を提供したい

**【質問】** 学校図書室に学校司書が常駐していれば、本の整理、図書利用への創意工夫、本の紹介、子どもたちとの深いかわりもできる。学校司書常駐の考えは。

**【市長】** 学校側と必要性を検討して考えたい。

**【質問】** 子どもたちの生きる力を育むためには、「体験学習」が必要。自然体験学習の機会を増やすべきでは。

**【市長】** 市内施設を活用して実施しているが、一層推進したい。

**【質問】** 子どもたちの学校生活の中に、地域の大人と交流できる場を設ける考えはないか。

**【市長】** 学校と話し合い検討したい。

**【質問】** 他者に対する理解力と共感が不足している今の子どもたちに生きる力や喜びを持たせるため様々な機会をつくり、接し声かけて取り組まなければならないが、児童・生徒が、市内のボランティア・グループの土・日の活動に参加できる体制をつくる考えは。

し、体験学習の場を提供したい。

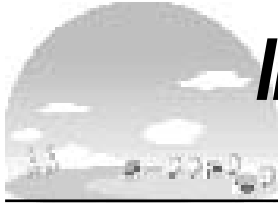
### 自販機見直しと 壁面緑化

**【質問】** 地球を守り、持続可能な社会を築くことは私たちの責務だ。地球温暖化防止、消費電力とCO<sub>2</sub>削減のため各施設に設置されている自動販売機設置台数を見直し削減する考えは。

**【市長】** 各施設の設置状況を調査し、適正な設置台数を模索したい。

**【質問】** 建物の窓側につる性植物を巻き付け育て、壁面を植物で覆う壁面緑化は、室温を約5〜10度下げ効果がある。ヒートアイランド現象を緩和し、涼しく勉強や仕事しやすい環境をつくり、植物観察や環境学習にも取り組める。良いことだらけの壁面緑化に取り組み考えは。

**【教育長代理】** 今後、優良な植栽事例が出てきた段階で検討したい。



# 旧弊を断ち、事業見直しを 果敢に実行せよ！



須貝 繁 議員

## 市長 行財政健全化、定員適正化を策定する

**質問** 旧町村時代の行政手法を断ち、英断を持ち蛮勇を振るってほしい。

特に観光事業関連が軒並み不振であるが、各事業の単体収支状況が見えない。一般会計と分離した会計法により、市民にも分かり易い開示が必要ではないか。

**市長** 仕組みの問題もあり補助事業体系を見ながら可能なものは考えたい。収益事業がうまくいっていない問題については分析が必要と思う。

### 公社か三セク での運営は

**質問** 企業会計法の採用を検討し、組織的には観光公社か既存の農業公社を活用する方法で、一括管理運営してはどうか。

**市長** 指摘の観光公社あるいは指定管理者制度等の方法も考えられるが、期間をいただき検討したい。

**質問** 雇用の確保、地域振興の視点も必要だが、夕張市のように本来の行政サービスが破綻することがあつ

てはならない。観光関連事業をプラスの財産とする決意は。

**市長** 収益が問題ではあるが、出稼ぎ解消、地域振興のための施策であるので、関係者も努力し改善に努める。

### 今後の取り組み

**質問** 胎内市には広大な工業団地と観光施設など活かされていない資産、資源がある。行政の責任といえる企業誘致と観光事業の収支改善により、財政健全化はもとより、中心商店街の活性化や文化拠点の整備など市民の期待に応える胎内市に変貌できると信じるが市長の見解は。

**市長** いろいろな施設や企業もあり、観光は国・県も柱としており胎内市の誘客については職員一丸となつて前進のため努力する。

# 実質公債費比率23.1% の健全化計画は？



菅原 市 永 議員

## 市長 平成26年度16.9%の 公債費適正化計画に

施計画が示された。特例債というメリットを活用した新市建設計画が示されたが財政の非常事態により、当初計画を大幅に修正せざるを得ないと受け止めてよいのか。

**市長** 公債費の対象となる建設事業関連の実施年度を健全化計画と整合させた内容とし、公債費負担適正化計画、財政健全化計画を合わせ議会に示したい。

### 行財政改革

**質問** 経常収支比率95%を行財政改革を実行し、健全財政に持って行く具体的計画及び改革の方法策は。

**市長** 景気回復による税収増を期待する。又、歳出削減の方策として、人件費の削減、退職者数の半分の新規採用、物件費（委託料）の削減については複数社から見積を取る方法を検討している。

**質問** 市単独の補助金の額と、全体の見直しの考えは。  
**市長** 17年度旧黒川村、旧中条町合せて2億9、000

0万円、18年度2億1、391万円、当初予算でどういう仕組みにできるのか各課に指示。

### 地域産業振興 事業特別会計

**質問** 対象5施設<sup>\*</sup>の17年度決算では7、620万円の赤字。又、その事業の地域に及ぼす経済効果は。

**市長** 経済効果は9、016万円、内訳は給与及び賃金6、650万円、農産物の買入れ2、366万円であり市の産業振興に資している。

**質問** 施設の展望については、しばらく振興し継続していくと答弁。収支状況によつては、指定管理者制度導入の政治決断について。  
**市長** 今の実績を上回るよう努力する。そうでなければ何らかの手法で検討する。

### ※5施設の名称

- 胎内高原ミネラルハウス
- 地域活性化センター
- 乳製品加工センター
- 農産物加工施設
- 胎内高原ビール園

# 常任委員会審査内容

- 任期付職員の採用
- 後期高齢者医療制度の創設
- 胎内高原ミネラルハウス指定管理者制度の導入

## 総務文教 常任委員会

### 監査委員条例の一部を改正

『監査委員の定数は従来、条例の定めるところにより、「3人」又は「2人」とされていたが、地方自治法が改正され、原則「2人」とされたことから、条例中の文言を整理する。』

### 一般職の任期付職員の採用等に関する条例

『高度の専門性や多様な社会経験を有する人材を職員として一定期間採用する。』

#### 主な質疑

**質問** 本条例制定のターゲットはどこにあるのか。

**答弁** 胎内市の課題解決やプロジェクト達成のため、ライセンスを取得している弁護士や会計士など、本条例を適用し採用する。

### 長期継続契約を締結することが出来る条例

『地方自治法が改正され、債務負担行為を設定することなく複数年度にわたり契約を締結することが出来る対象範囲が拡大されたので条例で定める。』

### 土地の取得

『国から史跡として指定を受けた坊城館跡を史跡公園として整備を行う為、5地権者から5、323㎡を1億2、034万6、300円で取得する。』

#### 主な質疑

**質問** 取得価格の算定根拠及び、国の補助及び市の一般財源の持ち出し金額については。

**答弁** 坊城整備組合の公共用地保留分については23、900円/㎡、民有地は20、000円/㎡、民有地の道路沿いは21、000円/㎡、国が80%の補助事業である。  
以上、原案のとおり可決すべきと決定した。

## 厚生環境 常任委員会

### 国民健康保険事業特別会計補正予算

・老人保健事業特別会計補正予算

・農業集落排水事業特別会計補正予算

#### 主な質疑

**質問** 繰越金の計上を12月から9月に変更した理由は。

**答弁** 特別会計の繰越しは6月に決まるので直近議会とした。

**質問** 接続状況は(加入率)。

**答弁** 黒川排水区域90%強、鼓岡排水区域50数%、乙排水区域10数%である。

**質問** 加入促進策は。

**答弁** 区長への依頼を含め説明会等を行っている。

**質問** 公共柵設置工事負担金とは。

**答弁** 受益者負担金でなく、取出し工事費負担分である。

### 簡易水道事業特別会計正予算

**質問** 簡易水道施設整備基金積立金残高は。

**答弁** 1億4、172万8千円である。

### 水道事業会計補正予算

#### 主な質疑

**質問** 荒川取水口の国道改良工事で市の持ち出しは。

**答弁** 施設が新しくなるので6、000万円持ち出しとなる。

**質問** 実質公債費比率との関係は。

**答弁** 企業債なので関係ない。

### 乳幼児の医療費助成に関する条例の一部を改正

#### 主な質疑

**質問** 条例改正で該当者負担に変化はないか。

**答弁** 変わらない。

**質問** 4月1日にさかのぼる改正の遅れは。

**答弁** 県の実施要綱が遅れた為。

### ひとり親家族等の医療費助成に関する条例の一部を改正

・重度心身障害者医療費助成に関する条例の一部を改正

#### 主な質疑

**質問** 食費負担の材料分だけ支援となるのか。

**答弁** 70歳以上養病病床入院者に限り材料費支援である。

### 新潟県後期高齢者医療広域連合の設置

これは平成20年4月より75歳以上の方等を対象とした後期高齢者医療制度が創設されるものです。

#### 主な質疑

**質問** 国の制度ではあるが75歳以上の根拠は。

**答弁** 市町村老人保険が75歳となつてる事、75歳を境に医療費の変化が大きい等である。

**質問** 保険料は県によって異なるのか。負担は増えるのか。



鳥坂団地集会所 (二葉町)

### 産業建設 常任委員会

・地域産業振興事業特別会計補正予算  
『旧黒川村職員の給料調整と臨時職員賃金を増額。』

#### 主な質疑

『歳入について繰越金で補うのはいかがなものか。』

『予備費として計上しても最終的には繰越金で決算するため、財政課と協議してこの形をとっている。』

『自動車運送事業会計補正予算』

『営業用公用車の老朽化が著しいことから、中古車を購入する。』

『市営特定公共賃貸住宅条例の一部を改正』

『北東牧団地の特定公共賃貸住宅4棟が完成することから所要の条例を改正する。』

『鳥坂団地集会所が完成するため、所要の条例を改正する。』

『観光事業特別会計補正予算』

『旧黒川村職員の給料調整と灯油価格の高騰に伴う燃料費の増額。』

『ワイン醸造について、増額になったのはなぜか。』

『ブドウの収量が増え、醸造委託料と運搬費が増えた為。』

#### 主な質疑

『入居希望者の状況は。』

『床面積22・25坪、家賃月額5万円、4棟とも希望があり、うち2棟は事務手続きも済んでいる。』

『市道路線の認定』

『北東牧団地1号線及び北東牧団地2号線を市道に認定する。』

『市道道路線の認定』

『北東牧団地1号線及び北東牧団地2号線を市道に認定する。』

『市道道路線の認定』

『胎内高原ミネラルハウス』

『胎内高原ミネラルハウスについて、指定管理者制度を導入すべく所要の条例を改正する。』

『農産物加工施設条例の一部を改正』

『胎内高原ミネラルハウス』

『胎内高原ミネラルハウス』

『胎内高原ミネラルハウス』

『胎内高原ミネラルハウス』

『胎内高原ミネラルハウス』

『胎内高原ミネラルハウス』

『販売能力を持った新たな第3セクターの「水」と一緒にワインを全国に販売する。』

『県との協議内容は。』

『本来の事業目的は変更できないので、経営を改善する方策としては、市が50%以上出資で代表権を有する第3セクターの設立が妥当である。』

『第3セクター、市と日本海コーポレーションその他の出資団体は。』

『現在、原料を供給している薬草の生産組合、麦の生産組合を考えている。』

『公募をしないのか。』

『第3セクター方式なので条例を適用し、公募はしない。』

『日本海コーポレーション以外の団体は考えなかったのか。』

『市内唯一の同業者である日本海コーポレーションの有利性を重視しており、近隣の他業者とはコンタクトしていない。』

『起立多数で原案のとおり可決すべきと決定。』

『起立多数で原案のとおり可決すべきと決定。』

『起立多数で原案のとおり可決すべきと決定。』

『起立多数で原案のとおり可決すべきと決定。』

『起立多数で原案のとおり可決すべきと決定。』

『起立多数で原案のとおり可決すべきと決定。』

『起立多数で原案のとおり可決すべきと決定。』

『起立多数で原案のとおり可決すべきと決定。』

『答弁』 各県毎決まる。給付は特に変わらないが、社会保険被扶養者に限り新保険料負担が発生する。  
『質問』 当市の該当者数は。  
『答弁』 国保3、285人、社保1、487人、合計4,772人である。  
『質問』 広域連合議員数と割り当てについて。  
『答弁』 35議席であり、人口比選出では、集中地域の声が強くなるので35市町村35議席となった。

『質問』 財源配分と一人当りの保険料は。  
『答弁』 公費5割、若い世代4割、本人1割である。保険料の試算は出来てないが、新潟県は全国平均より下まわるものと考えられる。  
『質問』 保険料の徴収は。  
『答弁』 介護保険と同じ方法になる。  
『質問』 以上、原案のとおり可決すべきと決定した。

『主な質疑』  
『運動施設整備事業の予定地内にある船戸自治会の墓地の移転に際し、その補償料を東日本高速道路株式会社から胎内市を経て船戸自治会に支払う。』

『主な質疑』  
『自動車運送事業会計補正予算』

『主な質疑』  
『市道道路線の認定』

『主な質疑』  
『農産物加工施設条例の一部を改正』

『主な質疑』  
『市営特定公共賃貸住宅条例の一部を改正』

# 胎内市 議会議員の定数を定める条例

次の一般選挙から定数を18人とする!!

## 《提案理由》

平成17年9月1日に胎内市が誕生しました。胎内市議会は在任特別での任期8ヶ月前倒しし、昨年8月31日に市議会を自主解散しました。

胎内市になって初めての市議会選挙が昨年10月1日に施行されました。この度

の「胎内市議会議員の定数を定める条例」による議員定数26名の新議員が議員定数削減について、全員協議会の場で真剣、且つ積極的に議論を重ねて参りました。

私たちは地域の実態、民意の動向を見極めながら、また同規模である村上市や見附市等の実態と議員定数を参考にし、自主的に現状定数26人から8人削減して議員定数を18名とする議員定数削減の条例を提案するものです。

これは次回市議会選挙から実施するものです。重要案件でもあり、全会一致を希望するものでありますので、議員各位の何ぶんのご賛同をお願いいたします。

なお、新議員定数18名の議員報酬については、新たな観点で特別職報酬審議会で見直し検討が必要と思えます。

討論の後、起立採決の結果、賛成多数で可決されました。(賛成22…反対3)

反対 小野 康男 議員

反対論旨は、合併時、36を10減の26に定着済。発議の本心は①更に8減の次回選挙から18議席の案②削減した18人分の議員歳費相当額を、平成19年度から現定数に報酬値上げを市長に求める。厳しい市の財政、費用削減に名を借り、議決特権、すり替え悪知恵、まさに議会民主の暴走だ。自治法の定数は、人口規模が鉄則、交付税算定の基礎。市財政上、費用削減許容一割なら4議席内で、歳

## 討 論

### 胎内市議会議員の定数を定める条例

賛成 渡辺 宏行 議員

胎内市の財政状況も益々厳しさが予想されることから、市政運営においては、より効率的な行政運営が求められている。議会としても率先して改革を進める必要があり、その第一歩として、議会運営に支障をきたさない大幅な議員定数の削減は不可欠である。類似市町村との比較、また住民感情からしても、今回提案された議員定数18名は妥当である。地方議会の充実強化とは、議員数が多くなければ市民の声を市政に反映出来ないというところは決してない。議員数が少なくても議員の位置付けが明確化され、議会の調査機能や政策立案機能等の充実強化を図ることによって、市民の負託に応えることが出来るものと認識している。以上のことから原案に賛成する。

反対 丸山 孝博 議員

この条例は、現在の議員定数を3割以上も削減し、18名にするというものであり、断じて容認できない。議員の役割は、市民の代表として、その声を市政に反映し、また市長の施策に誤りなきようチェックすることである。議員定数の削減は、このパイプを細くするものである。市の財政が大変だから議員が自ら身を削るべきだというのであれば、4年後を待たずにただちに身を切ることは可能である。何の目的もない嘉平山の買い取りなどが、市の財政を圧迫している。議員定数の削減が財政難の解決策にはならない。「議員定数を減らせ」という市民の声があることは承知しているが、我々が日夜研鑽し、政策提案能力、チェック能力を高め、市民の負託に応えることである。

賛成 齋藤 貢 議員

議員定数の削減については、市の財政事情がひっ迫している現状を認識し議会として積極的に全員協議会で協議してきたところであります。市から、第一次胎内市総合計画基本構想、基本計画、実施計画が示され、さらに市の財政健全化計画、公債費負担適正化計画が示されました。この様に市をあげて真剣に行革に取り組んでいるとき、議会は、議員定数削減等規範となる方向性を示す必要があります。今後最も厳しい財政事情を鑑み、市民の目線に立つて市民の福祉向上のため、適正化計画が実効性あるものにしなければなりません。議員定数の大幅な削減はひとつの方策であります。市民に議会の行革の姿勢として理解されるものであり、次回の市議会選挙から実施する議員定数を18名とする原案に賛成する。

# 関会中所管事務調査

## 企業誘致促進特別委員会

### 『企業誘致の促進と雇用の拡大を!!』

12月1日、9月定例会で設置された、企業誘致促進特別委員9名と商工観光課3名が出席し、第1回企業誘致促進特別委員会を開催した。

今回は、第1回委員会とすることで、顔合わせ及び各委員の意見が述べられ、今後の委員会の方向性が議論された。

#### 〈主な意見〉

・雇用の創生、財政健全化を考へても早期の企業誘致が必要不可欠、議会として全面協力したい。

・工業誘致の促進をする上で議会は、条例の設置等の条件整備を行いながら誘致

活動を行いたい。

・議会で同委員会が設置されたということは、全市を挙げて企業誘致に取り組んでいるというアピールにつながる。

・中条中核工業団地の長所短所を今一度委員会で勉強し、誘致活動を展開すべき。現状は、誘致の主導権は

「中小企業基盤整備機構」が持っているので、一度会合を持つ必要がある。

#### 〈今後の方向性〉

「中小企業基盤整備機構」と同委員会との勉強会を開催し、現状と今後の誘致活動について議論していくことが確認された。

## 厚生環境常任委員会

### 『障害者自立支援法施行に伴い4施設の現況を調査』

11月20日、「こぼと作業所」「虹の家」「虹の家高浜」「ぐみの郷」を訪問し実態を調査した。

#### こぼと作業所

・法改正前に比べ支援費が70%台に低下し運営が苦しい、半年累計612万円の低下となった。

・使い捨て雑巾を作っているが、単価が安く採算がとれない。

#### 虹の家

・本人負担、家族負担が大きくなり、休む傾向がみられる。

#### 虹の家高浜

・定員30名のところ23名の利用だが、利用料滞納、辞める・休む傾向が発生した。

農耕・調理・組立て・仕切り作業等行っている。

#### ぐみの郷

・市内利用者が80%を占めているが、本人負担に厳しさがある。

#### 共通の声

支援費低下で運営が苦しくなり、本人負担が増え辞める・休む傾向があるとして次の要望が出された。

・行政による利用者負担の補助

・国県へ、法の改正

・企業への就労支援

この実態調査結果から、厚生環境常任委員会としては、広域運営でもあり、今後の国県、近隣市町村の動向を注目しながら、継続調査事項とした。

## 国への意見書

○「がん対策推進法」(仮称)の早期制定を求める意見書

○ドクターヘリの全国配備へ新法制定を求める意見書

○脳脊髄液減少症の研究・治療等の推進を求める意見書

○難病医療費の公費負担適用範囲の見直しに関する意見書

○森林・林業・木材関連産業政策と国有林野事業の健全化を求める意見書

○全国森林環境税の創設を求める意見書

○防災・生活関連を中心とした「公共事業」への転換と公共サービスの民間化に反対する意見書

○日豪EPA交渉に関する意見書

# 共通課題は 合理的に集約して 質問できないか!

12月6日午前、議定  
例会の一般質問を合併後、  
初めて傍聴しました。  
当日は、先ず2人の新  
議員から少子化対策・地  
域振興・教育の問題・県  
立高校全県一学区制など、  
先を見越した身近な問題  
を質問していました。  
次に経験議員は、地震  
対策・財政・予算等生活  
に密着した課題について  
の質問でした。やはり、  
質問だけに終始せず、地  
域住民の代表であること  
から、自分の意見を率直  
に主張することが大事で  
あることを痛感しました。  
定例会での一般質問者  
は26人中16人と大勢で、  
議員の皆さんの真剣さは

12月定例会

## 傍聴記



笹口 浜  
八幡 博 昭 さん

伝わって来ますが、この  
度、特に問題になってい  
る「いじめ」「自殺」など  
の切実な教育問題でも、  
それぞれの主観が異なる  
にせよ、共通課題につい  
て、我もわれもと質問す  
るよりも、合理的に質問  
を集約することができた  
ならとも感じました。

特に当日教育長が不在  
でご意見を直接拝聴出来  
なかつたことは残念でし  
た。(質問の取り止めも  
見られた。) 議会は、議  
員活動の公開の場である  
ことから、住民の立場で  
関心のある審議の時だけ  
でなく、立派な傍聴席が  
満席になるほどの関心が  
高まることを期待して帰  
って来ました。



### 3月議会(予定)

### 日曜議会を開催します!

3月定例議会では、広く市民の皆様から議会を傍聴していただきたく、全日程のうち本会議2日目を日曜日に開催する予定です。

#### 日程

1日(木)	本会議(初日)	8日(木)	厚生環境 常任委員会	14日(水)	予算審査 特別委員会
4日(日)	本会議(2日目)	9日(金)	産業建設 常任委員会	15日(木)	予算審査 特別委員会
5日(月)	本会議(3日目)	13日(火)	予算審査 特別委員会	20日(火)	本会議 (最終日)
7日(水)	総務文教 常任委員会				

### 議会の動き

詳しくは日程が決まり次第、市報やホームページでお知らせします。  
多数の傍聴をお待ちしています。

#### 1月

- 5日 議会報編集特別委員会
- 9日 議会報編集特別委員会  
全員協議会
- 16日 議会報編集特別委員会  
議会運営委員会
- 24日 企業誘致促進特別委員  
会
- 30日 総務文教常任委員会
- 31日 産業建設常任委員会

### インターネット中継

胎内市ホームページの市議  
会から定例会の様子を閲覧で  
きます。(ビデオ)

### 編集後記

雪の無い正月は、私達にとつては場馴れしてない感じでした。雪を求めて神頼みする所もありましたが、全体的には、穏やかに過ごすことの出来た正月ではなかつたかと思えます。  
この度は、多くの議員から一般質問が有り、財政・教育・福祉・農業問題と山積がうかがわれます。  
一方防災対策の重要性も求められ、無線システムや集落単位の体制作りなどが急がれております。使用しない事にこしたことはありません。  
せんが「いざ」の為に、大型予算もやむを得ない現実もあります。  
自然の力は何よりも強く、これだけは予測出来ても、避けること出来ず受け身が続くことでしょう。  
地球温暖化で、島の水没・巨大台風・干ばつ・猛暑との予測は空恐ろしい気がします。この素晴らしい地球を守るの、まさに人間の知恵と行動あるのみです。世界の人々に地球を守る本腰を期待するところで。  
(高橋)

平成19年2月1日 発行責任者 議長 松井恒雄

FAX (0254) 43-6111 (0254) 44-7875

〒959-2693 新潟県胎内市新和町2番10号

印刷/株式会社福島印刷